2013.08.23　第２８回リハ工学カンファレンスにて報告

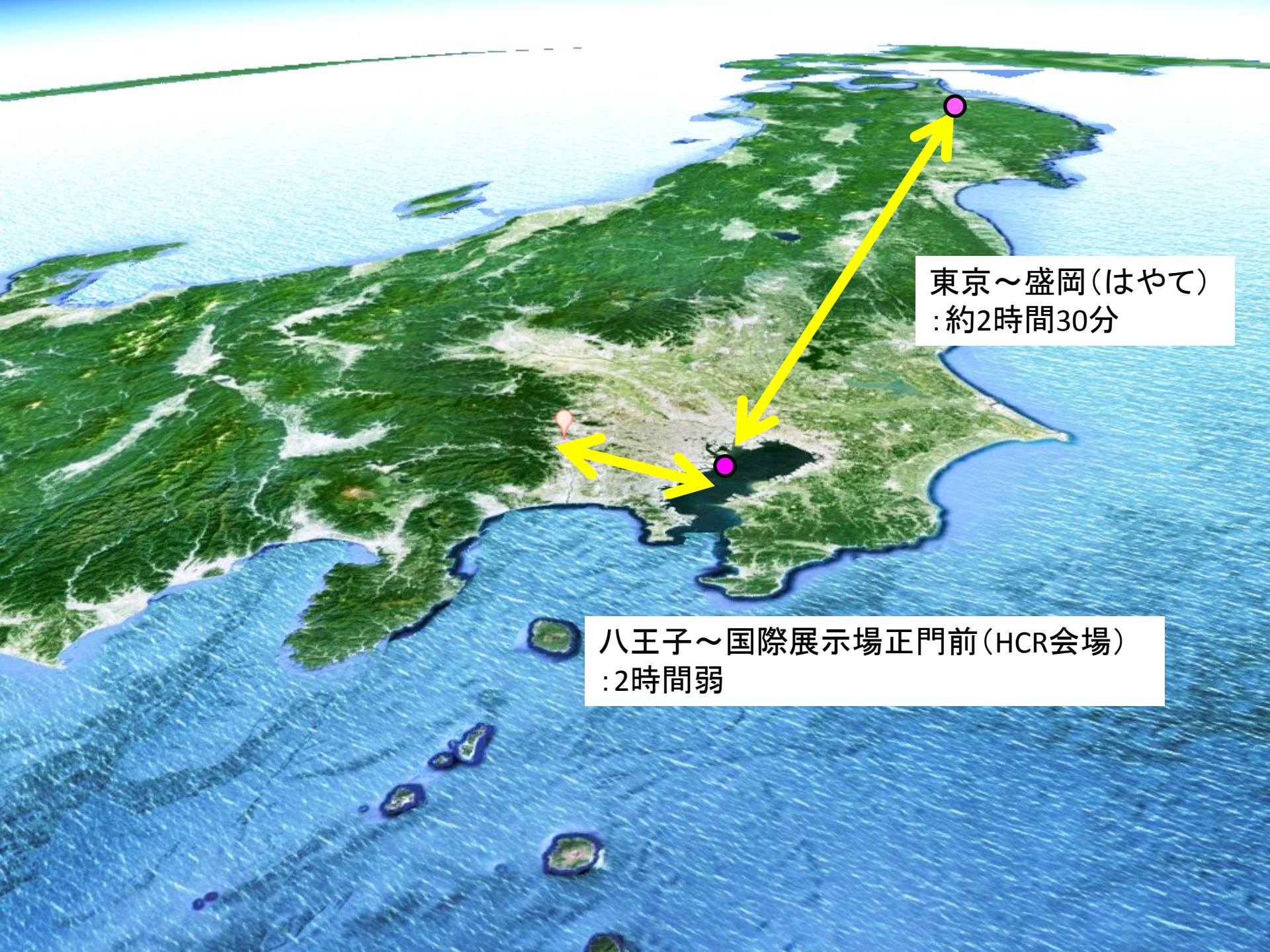
住まうまちに求めること

―南多摩福祉機器展来場者アンケートより―

医療法人社団永生会　地域リハビリテーション支援事業推進室

・

石濱 裕規


東京～盛岡（はやて）
：約2時間30分
八王子～国際展示場正門前（HCR会場）
：2時間弱

平成24年度 福祉用具適合講習会

南多摩福祉機器展

Minami-tama Home Care and Rehabilitation Exhibition 2nd

●福祉用具・住宅改修・リハビリ機器

展示15社 利用相談 パネル発表

●健康を測る　測定：先着60名様（両日共）

生活習慣病・転倒・骨折予防・バランス測定

●介護技術等セミナー

移乗・排泄介助・褥瘡予防・口腔ケア・自助具・住環境整備・リハビリ機器・福祉用具安全利用

参加無料　平成25年

3月16日（土）～17日（日）

16日 11時～18時　17日 9時～18時

八王子市学園都市センター 11・12階

ＪＲ八王子北口・京王八王子駅徒歩５分

●ランチョンセミナー「人に優しいデザインを色使いと共に考える」

武者廣平 氏　17日　12：00-13：00

武者デザインプロジェクト代表／NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構理事長　内閣総理大臣表彰他受賞多数

＊第8回　医療と介護と地域をつなぐ会フォーラム　17日同時開催

主　催：　南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター

共催：　社団法人東京都理学療法士会　東京都作業療法士会

後援：　経済産業省関東経済産業局　公益財団法人テクノエイド協会　公益財団法人東京都福祉保健財団　稲城市　多摩市　八王子市　日野市　町田市　社団法人東京都医師会　東京都言語聴覚士会　一般社団法人日本リハビリテーション工学協会　一般社団法人日本車椅子シーティング協会　一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会　一般社団法人日本福祉のまちづくり学会　NPO法人東京都介護支援専門員研究協議会　NPO法人日本シーティングコンサルタント協会　日本福祉用具・生活支援用具協会

http://www.c-rehab.com/

【福祉用具・住宅改修展示】

地域の貸与事業者が中心の出展
ADL別展示会場
ユーザーと支援者との交流の場
（出展・協力計28社・団体：180点）。

【健康を測る】

生活習慣病、転倒・骨折予防のための各種計測
（血管年齢・体組成（メタボ）測定、骨密度・バランス測定）
足と靴の相談コーナー
市民の驚声で賑わい。

【介護技術等セミナー】

移乗・排泄介助、褥瘡予防、電動車いす安全利用、住環境整備、口腔ケア、自助具、生活の工夫、リハビリ機器と多岐に渡った。

半数のテーマの講師がユーザー（当事者）であり、理学療法士・作業療法士・介護福祉士・福祉用具専門相談員・歯科衛生士・建築家等多職種からなった。

南多摩福祉機器展　作業部会	
中村　幸央	八王子市　健康福祉部　介護保健課
熊谷　覚	ヤマシタコーポレーション　福祉用具専門相談員
栗原　安守	日本オートランニング株式会社　福祉用具専門相談員
斉藤　博人	株式会社山六 ミニロクメイト事業部　係長　福祉用具専門相談員
外山　恵美子	城山みなみ訪問看護ステーション　作業療法士
永井　純	北原国際病院　事務長代理　作業療法士
永見　直明	多摩丘陵病院　診療技術部　リハビリテーション科　主任　理学療法士
芝原　美由紀	杏林大学　保健学部　理学療法学科　准教授　理学療法士
大井みゆき	八王子市地域包括支援センター片倉　センター長　看護師　介護支援専門相談員
斎藤健一	八王子市地域包括支援センター高尾　センター長　介護支援専門相談員
山本徹	永生会　訪問看護ステーション　めだか　言語聴覚士
星本　諭	永生会　訪問看護ステーション　いるか　理学療法士
石濱　裕規	永生会　地域リハビリテーション支援事業推進室 研究開発センター副センター長　訪問看護ステーションとんぼ　理学療法士

目 的

『南多摩福祉機器展』来場者（当センター主催平成24年度福祉用具講習会）に対し、

地域のまちづくりに関する市民の要望を把握すること。

方 法

<u>対象</u>
来場者（975名）
質問紙形式の匿名アンケートを受付配布し、当日回収。

<u>調査項目</u>
基本情報（性別、年代、お立場、地域、来場のきっかけ）
満足度

以下の質問を3つ迄選択可とした。
1. 印象に残った製品・発表・セミナー（18項目）
2. 改善・促進を望むこと（10項目）
3. わがまちの課題（13項目）

御来場・御支援ありがとうございました。 参加された範囲で、以下アンケートに御回答頂ければ幸いです。

性別 □女 □男

年代 □10代 □20代 □30代 □40代 □50代 □60代 □70代 □80代 □90代 □100代

お立場
- □市民
- □要介護者
- □同ご家族・関係者
- □障害当事者
- □同ご家族・関係者
- □医師
- □看護師
- □理学療法士
- □作業療法士
- □言語聴覚士
- □歯科衛生士
- □他医療専門職
- □介護福祉士・ヘルパー
- □介護支援専門相談員
- □福祉用具専門相談員
- □企業・メーカー
- □行政関係
- □メディア関係
- □教員・教職者
- □学生
- □その他

地域
- □稲城
- □多摩
- □八王子
- □町田
- □日野
- □立川
- □相模原
- □福生
- □他多摩地区
- □東京23区内
- □神奈川
- □山梨
- □他

参加
- □南多摩福祉機器展 福祉用具適合講習会 16・17
- □フォーラム 医療と介護と地域をつなぐ会 17日

御来場・御支援ありがとうございました。 参加された範囲で、以下アンケートに御回答頂ければ幸いです。

南多摩福祉機器展 最も印象に残った製品・発表・セミナー等を3つまでお教え下さい。

□ランチョンセミナー	□住環境整備	□自助具	□リハビリ機器	□他パネル発表
□起居	□排泄	□コミュニケーション機器	□生活習慣病予防	□その他
□移乗	□入浴	□遊具・工夫	□転倒。骨折予防	
□移動	□口腔ケア	□小児福祉機器	□足と靴の相談	

南多摩福祉機器展 具体的に御意見・御感想をお教え下さい。

南多摩福祉機器展来場者の方へ 改善・促進を望むことを3つまで御回答下さい。

- □生活習慣病を防ぐリハビリの充実
- □転倒・骨折を防ぐリハビリの充実
- □福祉用具の活用を支援できる専門職の教育育成
- □貸与事業所間での取扱い製品等格差の是正・改善
- □学校・病院・施設でも福祉用具をレンタルできる制度
- □高齢化による変化に対応できる福祉用具貸与制度
- □成長の変化に対応できる福祉用具供給制度
- □住環境整備への支援充実(段差解消・住宅改修)
- □移動・移送サービス支援の拡充
- □介護を楽にする福祉機器の開発促進
- □コミュニケーションを支援する福祉機器の開発促進
- □地域産業を活かした福祉機器・共用品開発
- □リハビリ・機能回復を助ける機器開発の促進
- □遊び・楽しみを拡げる支援用具の開発
- □地域産業を活かした福祉機器・共用品開発
- □だれもが外出しやすいまちづくり
- □だれもが使いやすい製品の普及
- □ユーザー・当事者・家族の声を活かした開発・支援
- □地域活動への行政の顔のみえる関わり
- □その他

わがまちの最大の課題は、どんなことだと思われますか？3つまで御回答下さい。

□医療	□介護	□住・生活環境・バリアフリー	□行政	□その他
□看護	□福祉用具供給	□ユニバーサル・デザイン	□産業支援	
□リハビリ	□福祉機器開発	□教育	□まちづくり	

来場のきっかけは？

□ちらし・ポスター □新聞 □市報 □テレビ □インターネット □職場・知人の紹介・口コミ □その他

ご参加されての満足度をお教え下さい。

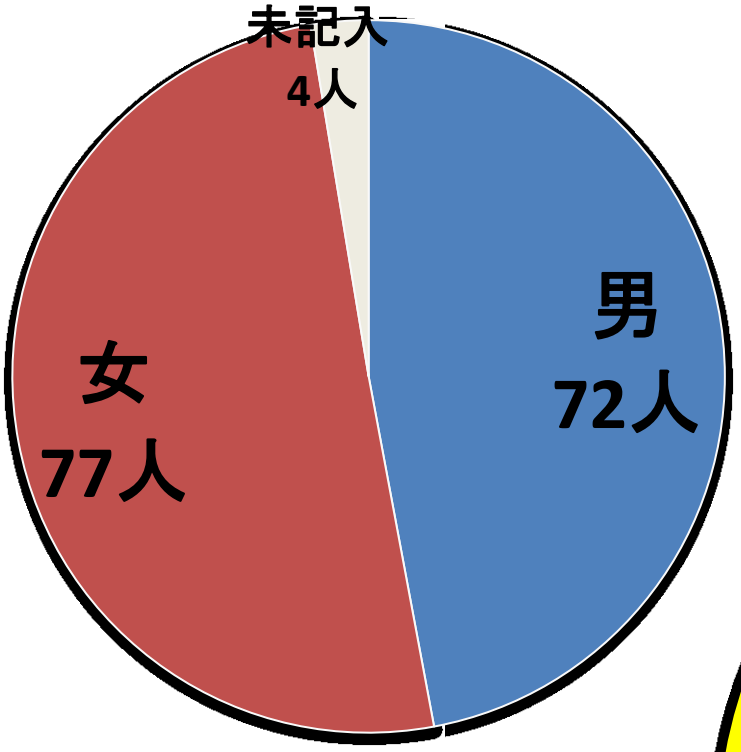
□満足 □やや満足 □どちらともいえない □やや不満 □不満

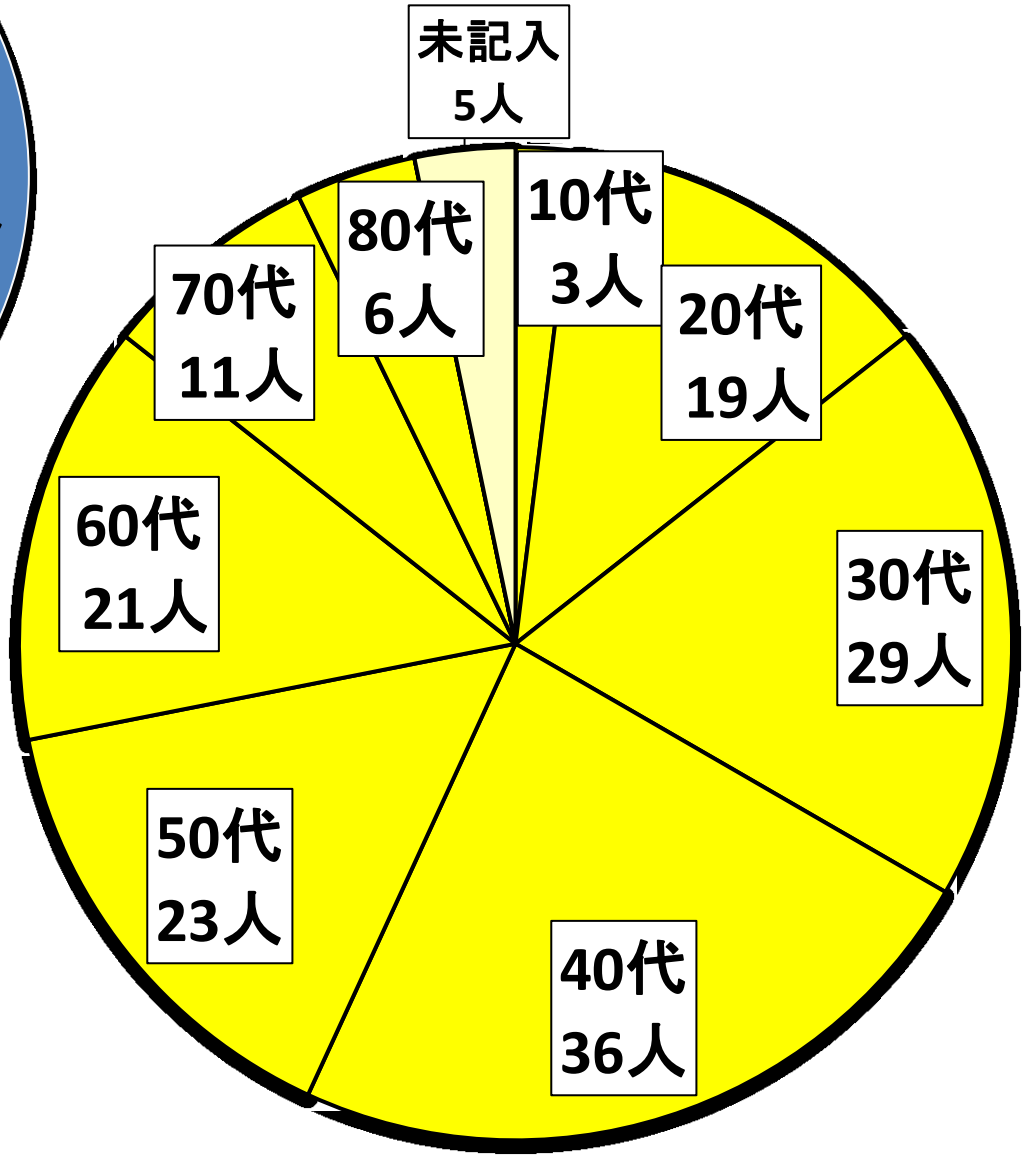
御協力ありがとうございました。

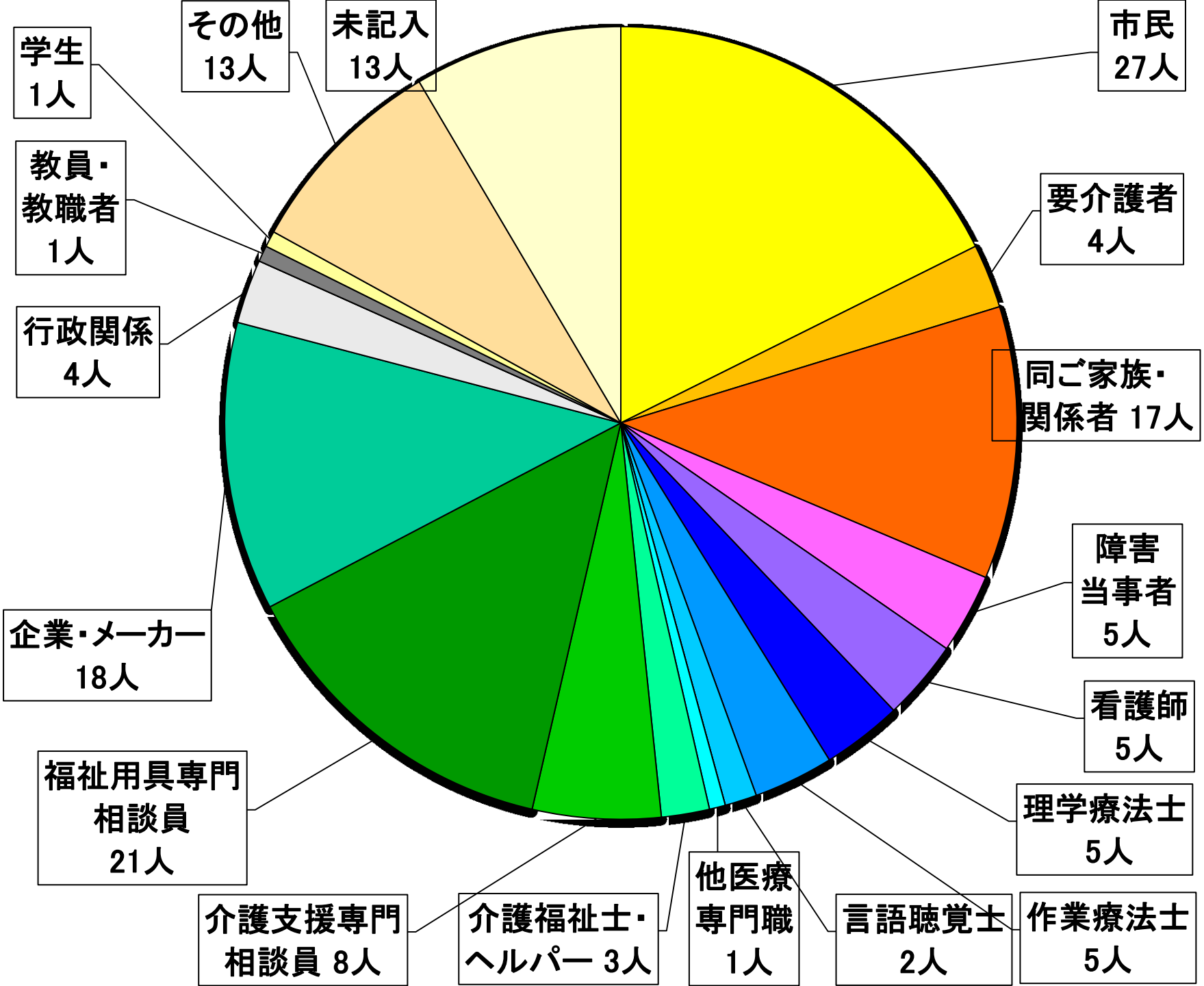
南多摩地域リハビリテーション支援センター

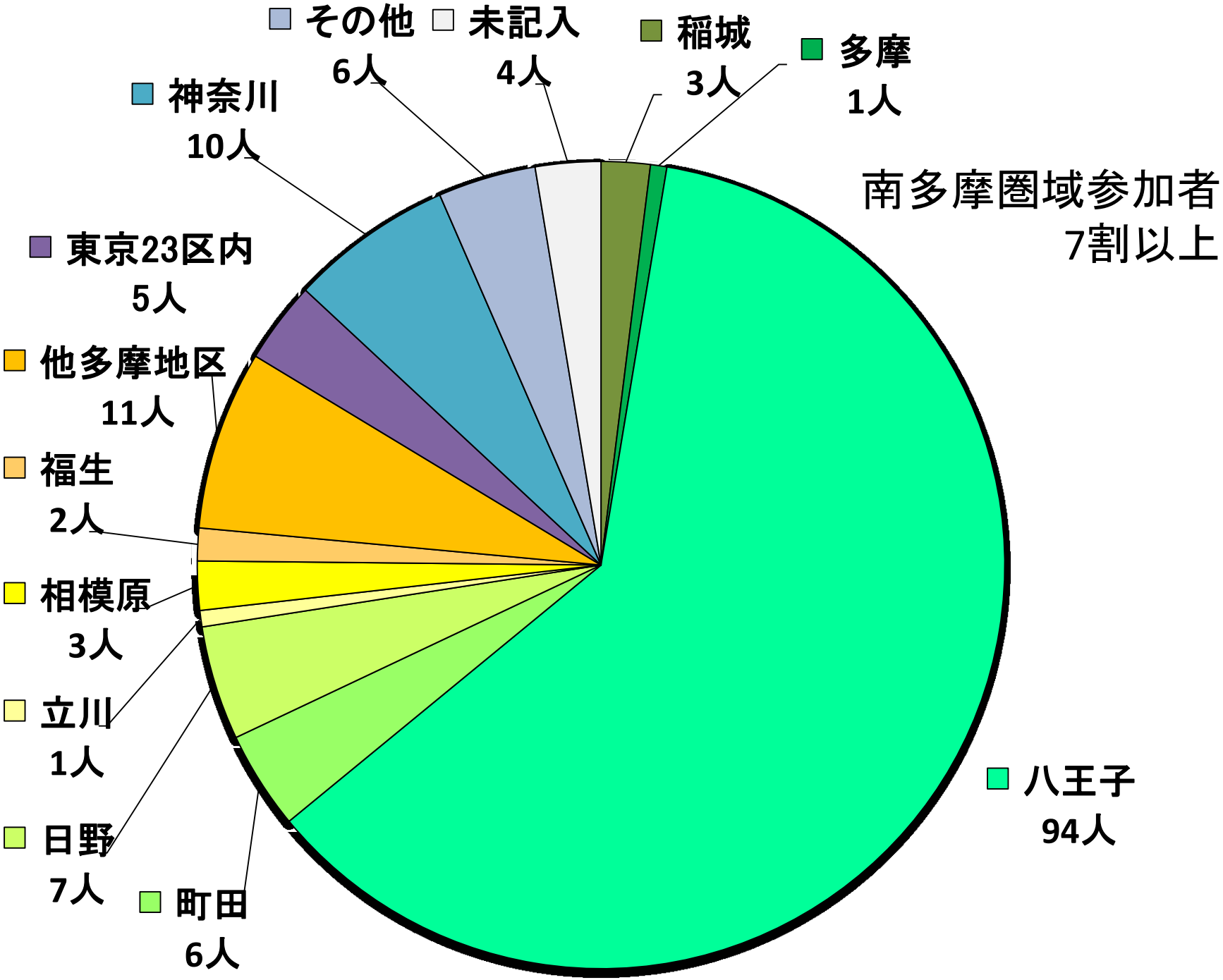
参加者975名　回収率15.7%

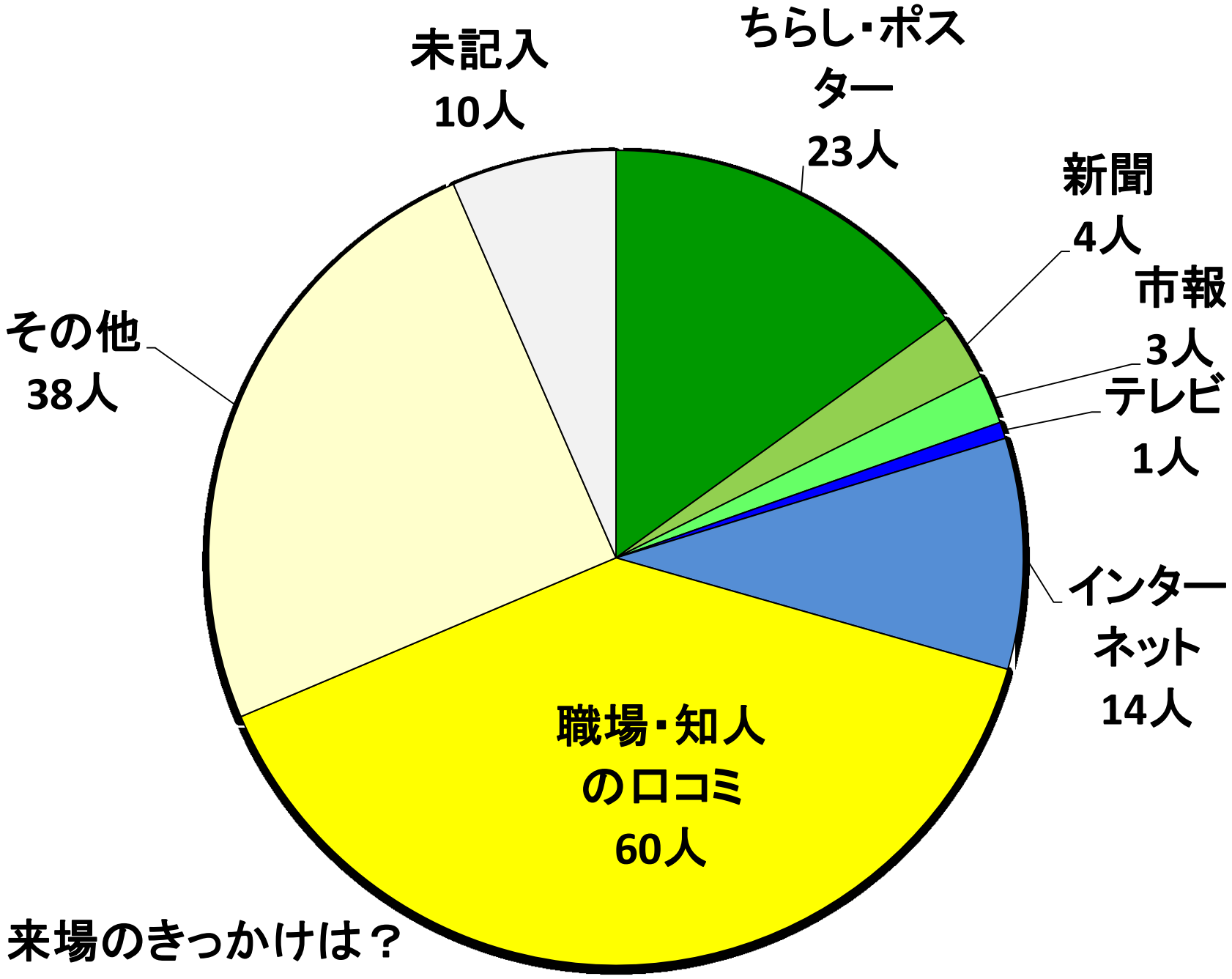
有効回答153件



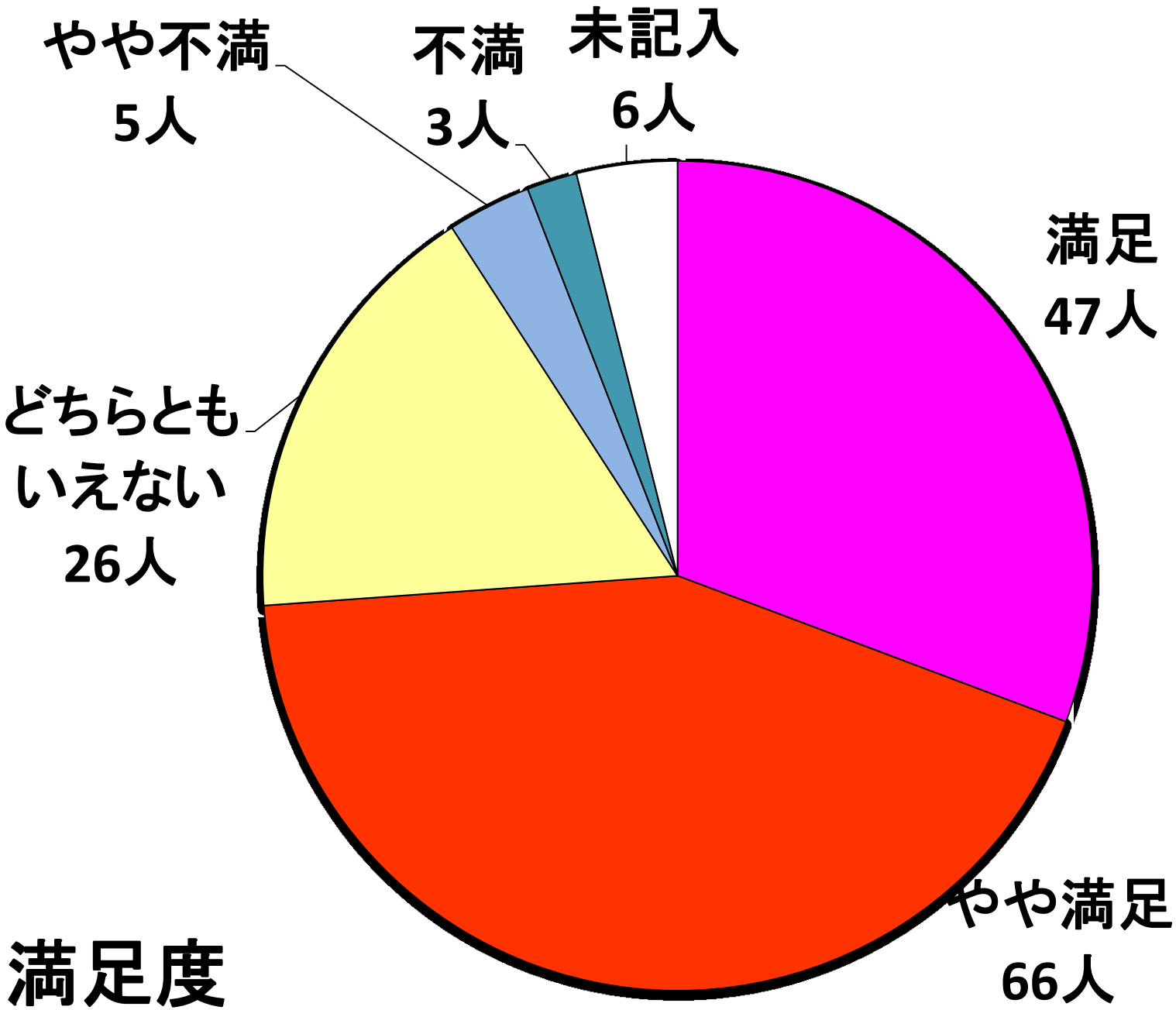



市民
27人
要介護者
4人
同ご家族・
関係者 17人
障害
当事者
5人
看護師
5人
理学療法士
5人
作業療法士
5人
言語聴覚士
2人
他医療
専門職
1人
介護福祉士・
ヘルパー 3人
介護支援専門
相談員 8人
福祉用具専門
相談員
21人
企業・メーカー
18人
行政関係
4人
教員・
教職者
1人
学生
1人
その他
13人
未記入
13人


その他
6人
未記入
4人
稲城
3人
多摩
1人
神奈川
10人
東京23区内
5人
他多摩地区
11人
福生
2人
相模原
3人
立川
1人
日野
7人
町田
6人
八王子
94人
南多摩圏域参加者
7割以上

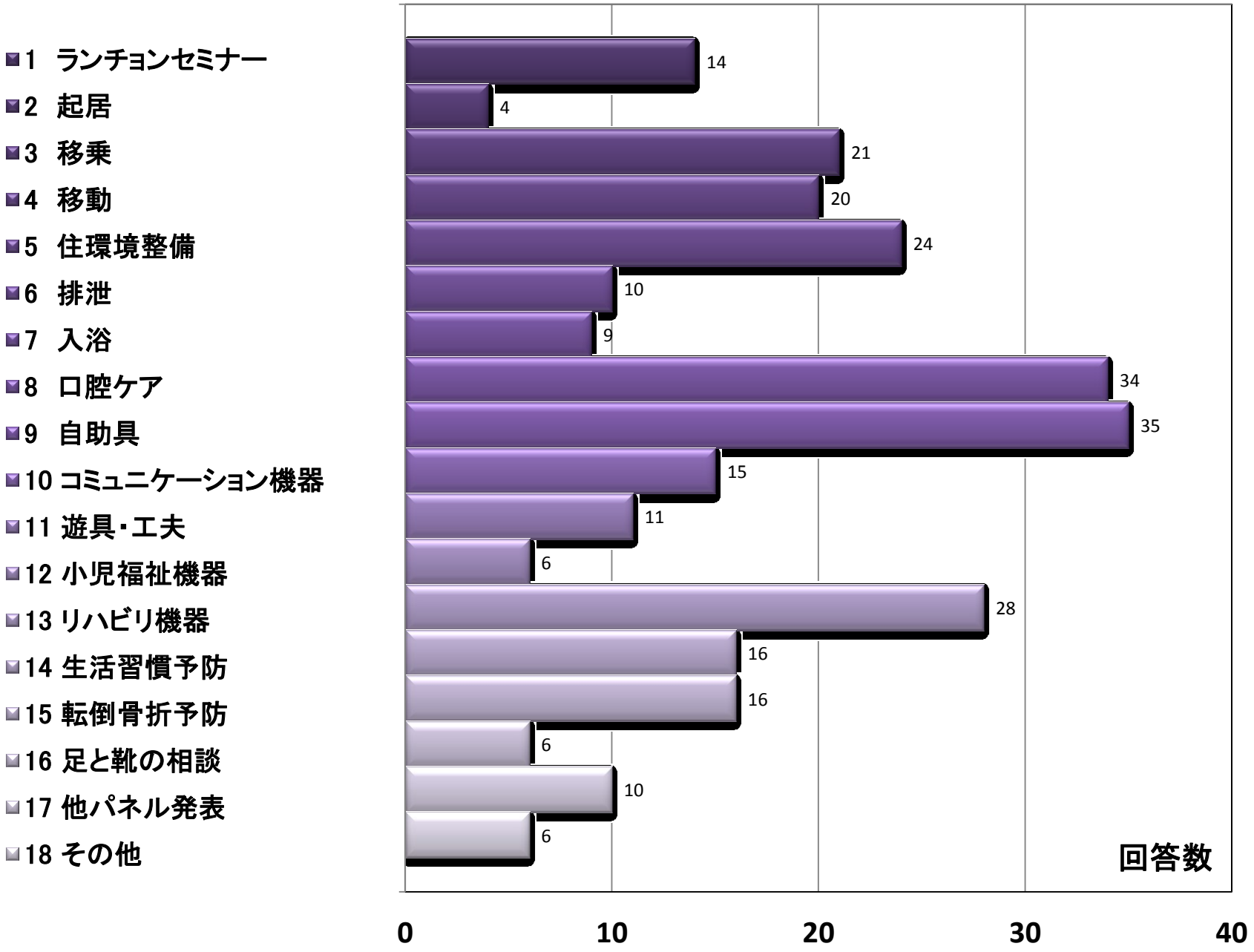

未記入
10人
ちらし・ポスター
23人
新聞
4人
市報
3人
テレビ
1人
インターネット
14人
職場・知人の口コミ
60人
その他
38人

来場のきっかけは？

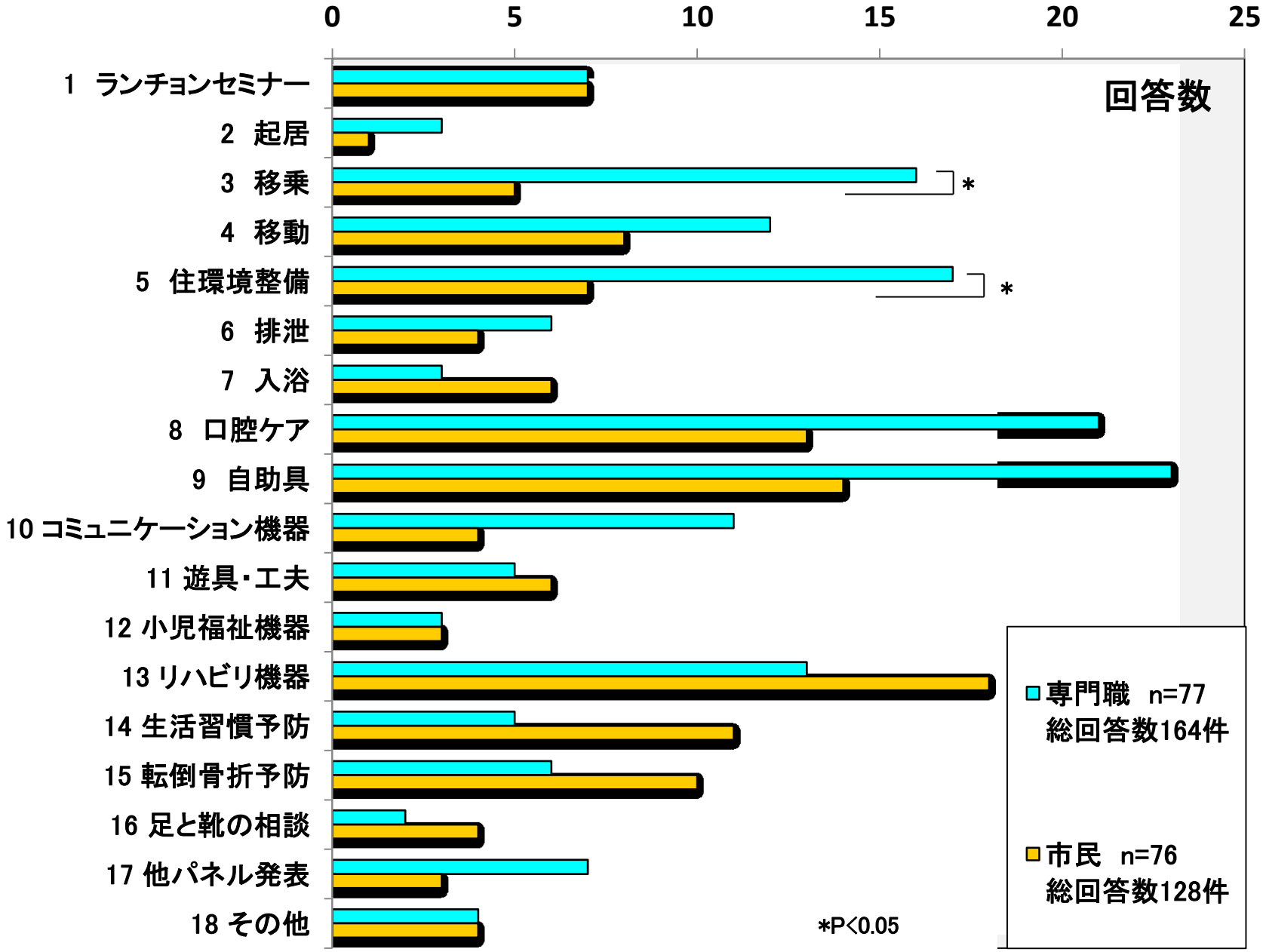


満足度

印象に残った製品・発表・セミナー　（3つ迄回答）



印象に残った製品・発表・セミナー（3つ迄）



「1. 印象に残った製品・発表・セミナー」

自助具　35件＞

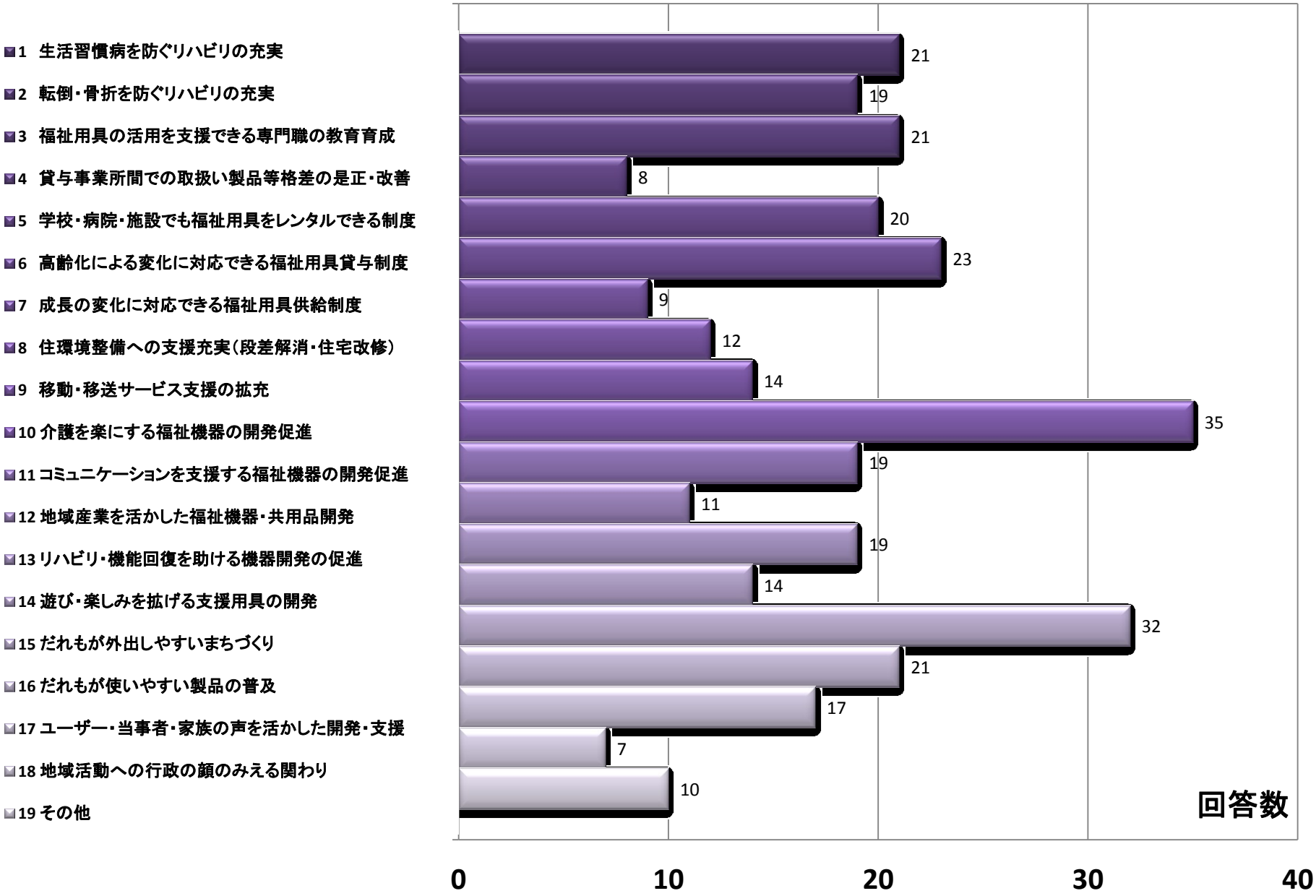
口腔ケア　34件＞

リハビリ機器　28件＞

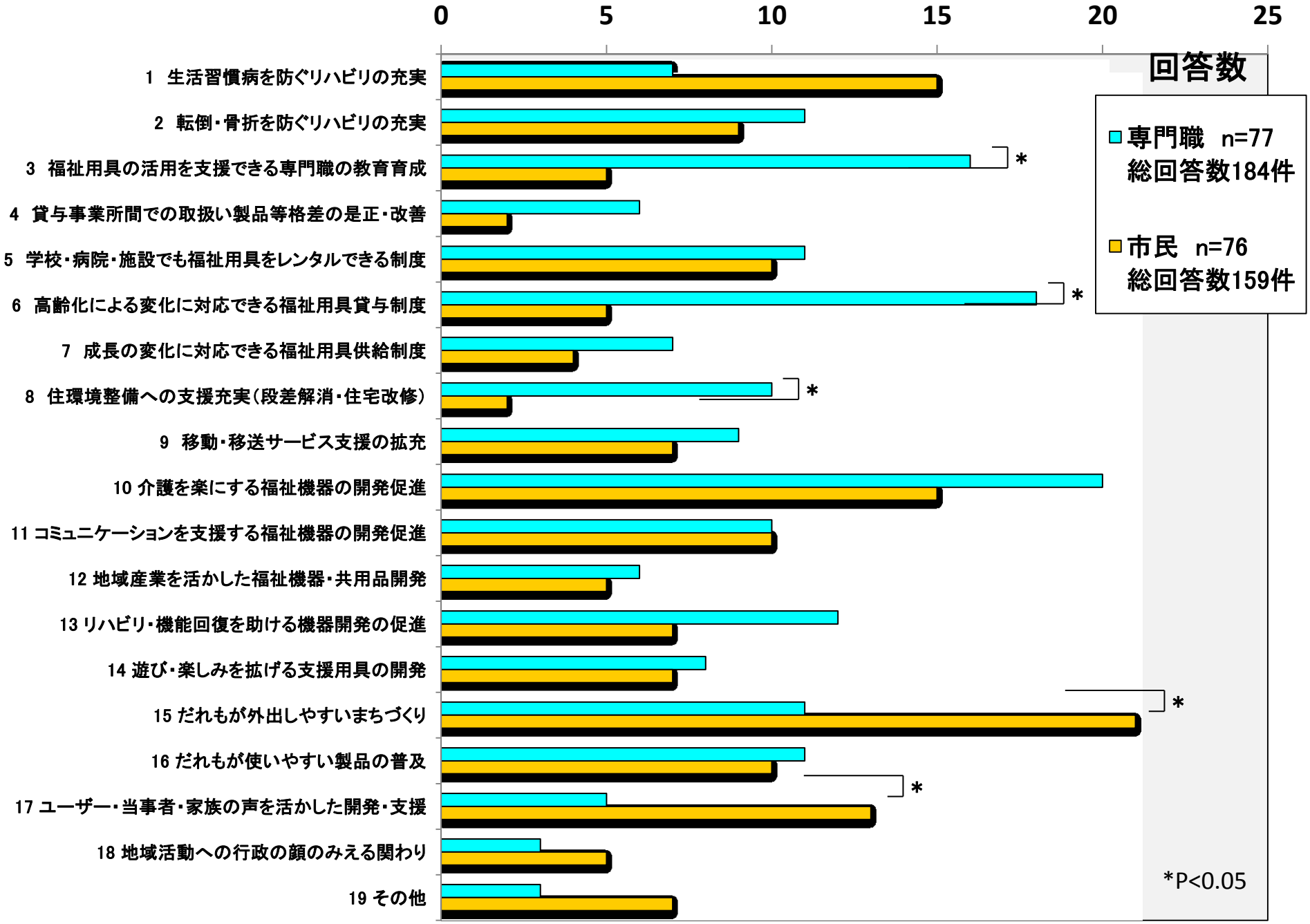
の順。

移乗と住環境整備は、専門職の方がより印象に残った回答が多くなった($P<0.05$)。

改善・促進を望むこと （3つ迄回答）



改善・促進を望むこと （3つ迄回答）



「2. 改善・促進を望むこと」

介護を楽にする福祉機器の開発促進 35件＞

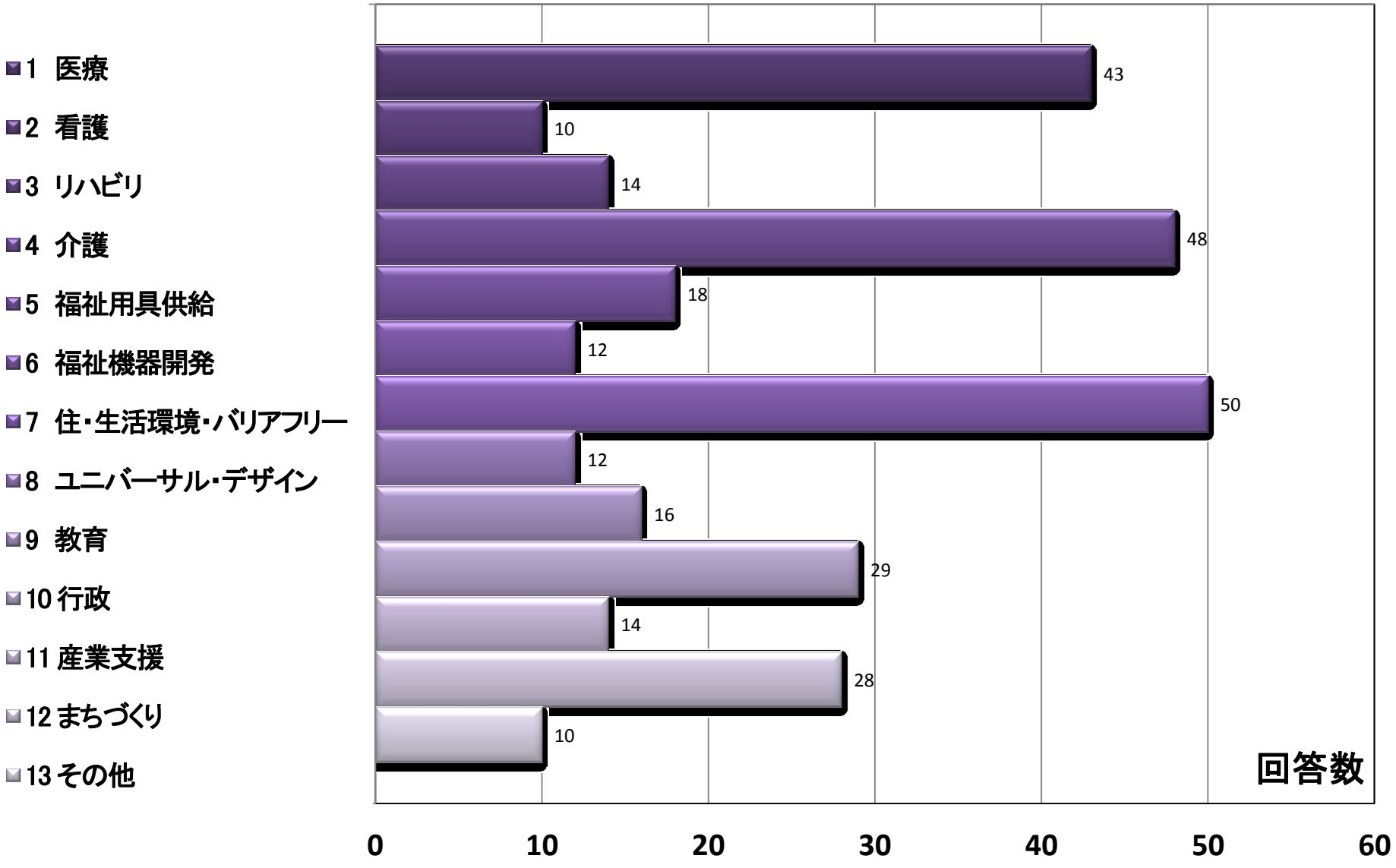
だれもが外出しやすいまちづくり 32件＞

高齢化に対応できる福祉用具貸与制度23件＞

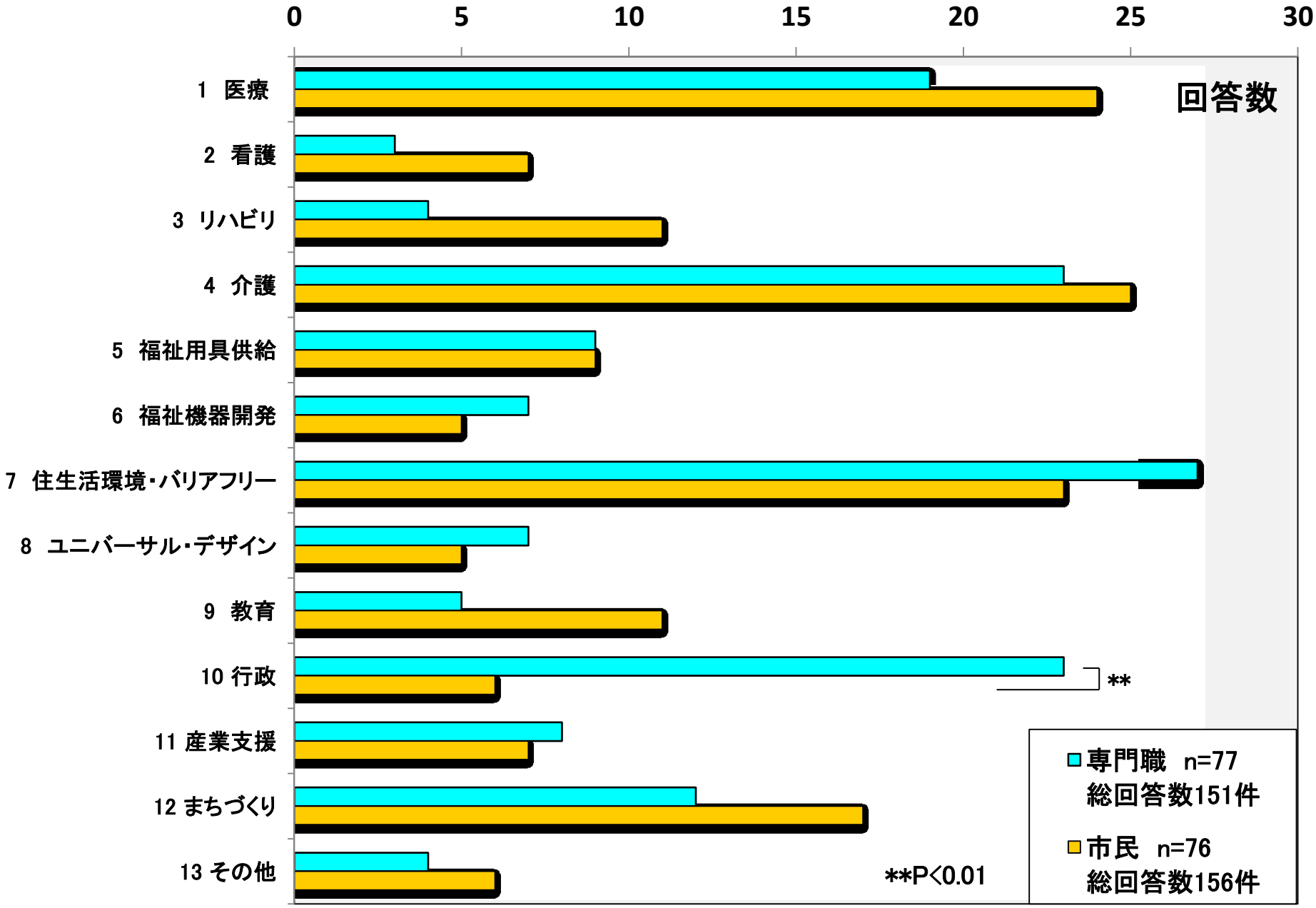
の順。

専門職の教育育成・貸与制度・住環境整備支援では、**専門職群**の方がより要望が高かった。
外出しやすいまちづくり・ユーザー等の声を活かした開発・支援で、**市民群**に高い要望が挙がった（$P<0.05$）。

わが街の課題は？（3つ迄回答）



わが街の課題は？（3つ迄回答）



「3. わがまちの課題」

住生活環境・バリアフリー　50件＞

介護　48件＞

医療　43件＞

の順。

市民・専門職群別では、**専門職群**がより行政への課題を求めていた（P<0.01）。

考 察

多分野に渡る本講習会より、市民の関心は、ベッドや車いすなど貸与比率の高い福祉用具のみならず、セルフケア、コミュニケーション、リハビリ・介護予防など多岐に渡っていることが示唆された。

考 察

市民は外出しやすいまちづくり・声を活かした開発・支援の促進をより望んでいること、更に行政施策に依存しすぎないまちづくりを望んでいることが伺われた。

まとめ

本講習会の企画・運営を通じ、福祉用具利用者にやさしいまちづくりにとどまらず、様々な福祉用具や住環境整備技術を活かした健康増進のためのリハビリテーションを推進できるまちづくりへの提案が、専門職にこそ求められていることを、来場者・市民の皆様に御教示頂いた。

Community

Based

Personal needs

Social needs

Rehabilitation

Engineering